

山田みやこの活動報告

令和2年1月25日(土)

市川房枝政治参画フォーラムに参加③

会場 東京婦選会館

膨張が続く国の財政－2020年度予算の特徴と課題－

講師 参議院常任委員会専門員

予算委員会調査室長 藤井 亮二氏

1月20日に通常国会が開会、その後予算審議が行われる。室長より予算の特徴と課題を聞いた。予算を見る視点は時系列(縦に見る)と比較対象(横に見る)こと。予算はその時々「内閣のかお」となる。

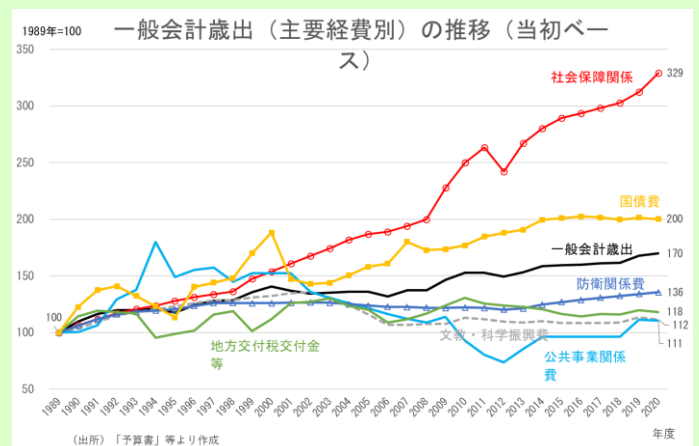
《2020年度予算の概要》

一般会計は8年連続で過去最大を更新。当初予算の100兆円越えは2年連続。(102.7兆円)
3年ぶりの経済対策で15ヶ月予算。経済膨張に各新聞は厳しい意見の見方が多い。



①一般会計最大の特徴

- ・総額102.7兆円
政策的経費63.5兆円(社会保障関係1/3、国債費1/4)
- ・社会保障関係費35.9兆円
幼児教育・保育の無償化300万人→3,410億円
診療報酬全体の改定率 ▲0.46%
就職氷河期世代への支援 199億円
全世代型社会保障
- ・防衛費
8年連続で増額の5.3兆円
歳出予算の硬直化の要因
- ・公共事業費
防災・減災・国土強靱化で増加
当初予算は6兆円、補正予算で大幅に増額
- ・国債の元金償還
低金利ながらも歳出の1/4の23.4兆円(借金返済)
国債残高906兆円、金利が上昇すれば財政破綻
- ・女性の働き方施策の注目点
女性活躍、ハラスメント規制法の施行(2020年6月1日)
パートへの厚生年金の適用拡大



②一般会計(歳入)の特徴

- ・ 税収は過去最高の63.5兆円の見込み

消費税率10%引き上げで21.7兆円。所得税の19.5兆円を始めて抜く。甘い税収見積、その他の収入として外為特会からの繰り入れ等、やり繰りしている。

③財政健全化はどこへ

経済と財政健全化を両立する予算というが、よく考えみると政府は1.4%の成長試算をしているが、実質0.5%程度で持続可能ではない。

④重要な成長戦略

実感されない「景気の緩やかな回復」。高齢化・人口減少の中で経済成長を実現するためには、高度経済成長からの脱却・企業、個人の活躍が必要。国はバックアップ。

⑤2020年度予算の特徴と課題

経済対策で膨れ上がる予算一歳出

甘い見積の税収とかき集める「その他の税収」一歳入

新規国債発行は抑制

※予算委員会調査室長という立場から冷静な目で2020年度予算の危うさを指摘された。

